

(本 社) 甲府市増坪町74	TEL055-241-3151 FAX055-241-8530
(営業所) 上野原市新田661	TEL0554-62-3321 FAX0554-62-3322

今だ暑さが残る今日この頃、皆様には、ますますご健勝のほどとお喜び申し上げます。いつも弊社を御利用頂き誠に有り難うございます。日々の暑さで体調管理が大変かとは思いますが、体に気を付けてお過ごし下さい。峰岸商会社員一同お客様のお役に立てる様、日々行動してまいりますので、今後とも宜しくお願い致します。今回は、**リボン鋼**についてご説明させていただきます。

(上野原営業所 村松・大浜)

＜編集者＞
塚原 佳由
望月 博隆
村松 貴
赤木 健三
山田 幸平

鋼種 Q & A～リボン鋼について～

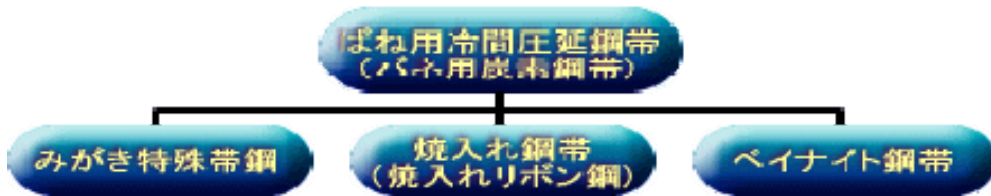
リボン鋼とは、焼入れ鋼帯の磨き特殊帯鋼を素材とし、それに焼入れ焼戻しを施して製造したものの、ことで焼入れリボン鋼、又は、リボン鋼という名でも知られている鋼帯です。

焼入鋼帯（焼入れリボン鋼）は、素材として既に焼入れされたものであり、薄板バネとしての強度は既に備えているため、成形・加工後の部品に対する熱処理は不要です。しかし、焼入れ材であるため成形性には乏しく曲げ加工の不要な平板・抜き加工のみの製品、あるいは軽度の曲げ加工で成形可能な薄板バネなどに適しています。一般に市場に流通する焼入れリボン鋼（焼入鋼帯）には、磨き特殊帯鋼の鋼種のうち、炭素工具鋼のSK120M（旧JIS：SK2M）、SK95M

（旧JIS：SK4M）、SK85M（旧JIS：SK25M）を素材としてそれに焼入れ焼戻しを施して製造したSK2、SK4及びSK5などが多いようです。*焼入れリボン鋼の記号はJIS等の正式な記号名称ではないですが、Quenching（焼入れ）を施したSK材という意味からQSKと呼ばれる場合もあります（QSK2、QSK4、QSK5など）JIS鋼種記号では、SK95-CSPH（旧JIS：SK4-CSPH）、SK85-CSPH（旧JIS：SK5-CSPH）、S60C-CSPHなどとなります。（JISG4802バネ用冷間圧延鋼帯）

*バネ用炭素鋼帯（ばね用冷間圧延鋼帯）と呼ばれるものには、みがき特殊帯鋼と、これに熱処理を施した焼入れ鋼帯、及びベイナイト鋼帯の三つの種類があります。

JIS規格におけるバネ用炭素鋼帯（ばね用冷間圧延鋼帯）の分類



☆社長のコラムポイント☆まだまだ残暑厳しいと言われていますが、あっという間に秋の気配を感じる今日この頃となりました。3ヶ月もすれば12月となり今年もいよいよという話になります。本当に月日が経つのは早すぎます。さて、終戦記念日にニュースで良く言われていたのが、平成最後の・・・という言葉です。平成という年号が今年で最後。カレンダーも最近では年号が書かれていないものが多くなりました。そもそも年号＝元号なんですが、元号は有限のシステムであって天皇陛下の即位、また治世の途中にも行われる改元によって元年から再度数え直され名称も改められる。と言われていました。明治は45年・大正は15年・昭和は64年・平成は30年と昭和は歴代年号の中で一番長く平成はその次・・・。歴史という波の中で様々な想いが感じられるのは年号ではないかと思えます。誕生日を聞くときに必ず、年号を皆さん言われますよね。西暦ではほとんど言わないと思えます。その時代何が起きていたことを年号で伝える。これは日本の文化でもあって、身体で自然と感じているのではと。しかし、最近ではその年号を止めようという部分があります。コンピューターの仕組みで印刷の問題、システムの問題・・・問題で済まされるモノでは無いと感じています。人は文化の上で成長し、また考え伝えていくという役割があり、企業文化も同様にどの様にその時代・風習・やり方々々時代にマッチした伝え方・・・。何でも変わるからと言って、大事な文化を捨てると言う事絶対にしてはならず、企業文化も同様に伝えると言う事しっかり行っていくなくてはなりませんね。「企業文化の継承そして継続」変わって欲しくないものは一体何なのか・・・当社も数年掛けて変化対応業にしなければなりません。

国中エリア 塚原

猛暑も一段落したと思えるくらい朝方の涼しい風を感じられるようになりました。まだまだ日中の温度は高いままですので、水分補給をしっかり行い体調管理をして下さい。7月の国中動向ですが半導体関係につきましては、依然としてスローペースのままですが9月から動き出すと話を聞いています。車、トラック関係につきましては、日野自動車から後半に来て生産ラインを一部ストップさせ先月よりも稼働は下がりましたが8月からは通常稼働になるようです。切削機械メーカーでは、依然として供給の問題が解決されておらず納期の調整が厳しいと聞きます。秋を感じる朝方になって来ましたが、日中との寒暖の差が大きくなって来ます。風邪などひかぬよう気を付けて下さい。

郡内エリア 望月

暑さが落ち着きが出てきました。夜も涼しくなり気温差がかなり出ていますので体調管理に注意して下さい。郡内の動向ですが、T社は先月同様に動きが鈍い状況です。その中で山梨県より安い加工費でやる県があるとT社から通達が有り各協力工場で焦りがでているとのうわさを耳にしました。またわかり次第に報告します。9月の仕事量も今月同様に厳しいそうです。工作機械系も先月と変わらずMCも製造していますが数は少ないそうです。ロボットは好調です。食品機械はメーカーが大手に攻勢をかけるそうで決まれば忙しくなるとの事。ヒートシンク、ダイキャスト系では仕事量は横ばいです。最近では板金系がとて忙しいそうです。大物から小物までです。なんの部品かわかりませんが、納期が守れないほどです。郡内では先月同様に状況は変わらず来ており、盆休みの稼働日数が少ない分仕事量も下がる傾向のようです。何か明るい情報を見つけて皆様にお伝えしていきたいと思っております。

上野原エリア 山田

8月は、お盆休みにより大型連休が有り稼働日が少ないお客様も多かったと思います。この先も暑い日も多いので体調には気を付けて頂きたいと思えます。動向としては、好調をキープしていた半導体ですが8月は一服感が有り落ち着いてきてしまっています。トラック関係も多少減少気味の様です。医療機関係は9～10月納期の仕事量が多い様子です。東京、埼玉、神奈川方面のお客様も、半導体に一服感が有り、医療機関係が好調な様子でした。増減を繰り返して仕事量に満足とはなかなかいきませんが、社屋の増設や、新しい機械の導入などを行って新たなアプローチを行っているお客様も有ります。また、医療機関係は10月頃には増えてくるのお話も聞いております。今年後半半に入っておりますがしっかりと状況を見極め皆様のお力になれるよう行動して行きたいと思えます。